

令和3年1月15日（金）

「大槌湾に流れ込む河川の水質分析調査（10月）」

10月13日（火）、2年生女子4名が活動に参加しました。その中には『総合的な探究の時間』の学習テーマをより深めるために参加した生徒もいて、積極的に活動していました。

今回の活動で分かったことは湧水の特徴です。前回と同じ地点（大槌川・小槌川・鶴住居川）で採水し水温を測定したのですが、湧水が流れ込む河川では前回とほぼ同じ水温でした。1年を通して水温に大きな変化が出ないことが、イトヨやサケといった大槌町を代表する魚種の生息を可能にしているわけです。生徒たちにとって、教科書に載らない身近な科学にふれる貴重な体験となりました。



令和3年1月15日（金）

「磯に生息する生物の採集・観察をおこないました」

10月24日（土）、蓬莱島周辺の浅瀬において、磯に生息する生物の採集・観察をおこないました。東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターの大土直哉先生にご指導いただき、3年生男子1名、2年生男子2名、2年生女子2名の計5名が参加しました。

この日の平均気温は11.6℃で風も強く肌寒い天候でしたが、水温は20℃あったため準備を入念におこなったうえで素潜りをおこないました。寒さもあって30分が限界でしたが、浅瀬に生息する貝類を中心に採集することができました。

